

フォト

PHOTO

安心でも安全運転で通行を

11/19
金

役場南西交差点に信号機点灯

以前より危険な交差点として指摘のありました「役場南西交差点」に、待望の信号機が設置されました。

同交差点は、昨年9月にららぽーと愛知東郷と同時期に開通した「県道諸輪名古屋線」との交差点で、交通事故が複数件発生していました。

このことから、同年10月に本町から愛知警察署へ早期の信号機設置を要望し、併せて、信号機が設置されるまでの間は、愛知警察署と連携し、現地での交通安全啓発活動を続けてきました。

交通整理のための信号機は設置されましたが、引き続き、周囲の状況に十分注意し、安全運転で通行してください。



被災時は皆さんの力が必要です

11/21
日

避難所開設訓練

自主防災会、教職員、消防団員、町職員が連携し、災害発生時に円滑に避難所を開設するための訓練を行いました。

この訓練は、避難所開設体制を確認するだけでなく、健全な避難者が避難所の運営者としての役割を果たすことを狙いとしています。

参加者は、感染症対策を講じた上で避難者の受け付けをしたり、参加者同士で避難所運営の役割分担をするなど、能動的に訓練に取り組みました。

春は桜、夏は噴水で水遊び

12/10
金

上城さくら公園オープン

上城保育園跡地に地域住民の憩いの場「上城さくら公園」がオープンしました。園内には、桜の定番ソメイヨシノの他、しだれ桜や芝桜なども植えられ、春にはいろいろな桜が楽しめます。その他にも、水遊びができる噴水やバスケットゴールなど、子どもたちに大人気の遊具も整備されています。

オープン前の内覧会では、この公園づくりにご協力いただいた皆さんが完成した園内施設を見学され、最後に子どもたちによる記念手形も作成しました。

内覧会に参加した下村 心夏さん（諸輪小6年生）は「早く友達とバスケットボールをして遊びたい」と想いのつまった公園のオープンを心待ちにしていました。





ニュース
NEWSな

役場の地下多目的スペースをリニューアル

11/12
金

金城学院大学、愛知株式会社との産学行政連携

役場の職員用地下食堂を、学生の柔軟な発想と家具の専門メーカーの知見を活かして、学生が製作した椅子や壁の装飾を設置し、抗ウイルス加工の素材を取り入れた多目的スペースに改修しました。

従来のランチルームとしての機能のほか、コミュニケーションの促進や新型コロナウイルス感染症対策に配慮した会議や打合せスペースとして利用します。

金城学院大学の勅使川原 紗夏さん（4年生）は「町の歴史や特産品を調べ、持って帰って自分のものにしたいと思うほどの椅子が完成しました。私たちの思いの詰まった椅子を、たくさんの人に座ってほしいです」と話していました。

新鮮野菜を福祉施設に寄贈

11/13
土

とうごう農学校収穫祭

町と(有)東郷農産が共同で開校している『とうごう農学校』で、収穫祭が行われました。

受講生の皆さんが丹精込めて育てた大根や小松菜などの秋・冬野菜は、収穫されたその日のうちに、町内の福祉施設（和合の里・和合の家、エイジトピア諸輪、フィロスとうごう、アウト・オン・ア・リム）に運ばれました。

フィロスとうごうの施設長 東 秀樹さんからは「入居者の皆さんと賞味させていただき、新鮮かつ大変なおいしさに寒い季節を乗り切る元気が出てまいりました」とお礼をいただきました。



体験して町に親しむ

11/14
日

愛知池でボート体験

町子ども会育成会連絡協議会のジュニアリーダー・ジュニアの23人が、愛知池でボート体験をしました。

子どもたちは、ローイングエルゴメーターを使って、陸上でボートの漕ぎ方を練習した後に、ナックルフォア艇（4人漕ぎボート）に乗り、町民スポーツであるボートを体験しました。

